

# 納涼祭



発行所  
明野駐屯地  
広報班



令和7年8月6日(水)明野駐屯地で、6年ぶりととなる「納涼祭」が盛大に開催されました。令和元年8月に開催されて以降、コロナ禍や天候不良などで中止を余儀なくされてきましたが、今年は天候にも恵まれ、約千五百人の隊員家族や地域の方々に来場いただきました。

以前まで会場として使用していた駐屯地朝礼場が新庁舎建設のため使用できないことにより、櫓の固定が困難な問題が生じておりましたが、隊員の「地域へ感謝を伝えたい」という思いから様々な工夫が集まり、今回初めて飛行場地区に櫓を建てることのでき、念願の開催を迎えることができました。

当日の会場では、祭り衣装を着た隊員が、この日に向け猛練習した太鼓を力強く打ち鳴らし、櫓の周りを先ず踊りを指導してくださった「さつき会」の方々が囲み、その外を駐屯地隊員、家族、地域住民の方々や輪を作って踊りました。また、キッチンカーやおもちや屋など夏祭りならではののお店が出店し、くじ引きやグルメを楽しむ子供たちの姿も多くみられました。

納涼祭の終盤には駐屯地協力会協賛の花火が打ち上げられ、夜空に咲く大輪の花火に会場の皆が歓声をあげ、6年ぶりの納涼祭は大成で終えることができました。



来年も盛大に納涼祭が開催されますように！

## 卒業 R7PAC

### 令和7年度新隊員後期教育



令和7年9月11日(木)航空学校において、新隊員後期教育の卒業式が行われました。

今年度入校した新隊員7名は、令和7年7月4日からの約2か月間、航空科隊員として必要な航空機整備や通信整備等に関する基礎知識・技能の修得に努めたとともに、8月下旬に実施した野外訓練においては、猛暑の中、野外における航空科部隊の諸行動に関する訓練に積極的に取り組み、遅しなつてこの日を迎えました。

卒業式では、卒業新隊員の御家族の他、三重県隊友会、自衛隊家族会及び明野OB会の各会長にご臨席いただき、入校時よりも更に遅しなつた姿を見ていただくことができました。

卒業した新隊員は、明野本校、霞ヶ浦校、宇都宮校、飛行教導隊(それぞれ配属され、彼らは陸上航空戦士として

属されました。また、中部方面航空隊新隊員教育隊(八尾駐屯地)に入校していた5名の新隊員も、令和7年9月4日(木)に教育を修了し、明野駐屯地に所在する第5対戦車ヘリコプター隊、第10飛行隊及び中部方面管制気象隊第1派遣隊にそれぞれ配属され、



航空機整備(実機研修)



航空機誘導



野外訓練



野外訓練(航空機偽装)



野外訓練(車両偽装)



卒業式

# 洋上救命生存訓練



航空学校は令和7年8月及び10月に洋上救命生存訓練を実施しました。  
この訓練は、陸上航空の総本山として全航空科部隊の航空安全確保に寄与するため、令和8年度から実施予定の集合訓練の準備の一環として行いました。  
主な訓練内容は昼夜を通して救命胴衣・浮舟で漂流し、航空機によりホイスト救助するもので、来年度指導部を務める整備部及び飛行教導隊の隊員が参加しました。

洋上での訓練実施前には指導部等と認識の共有と予行を実施するとともに、被教育者には駐屯地内において基礎的な座学及び水上救助法や救命機器の取扱要領の訓練を実施した後、医官による問診を行う等、万全の安全管理態勢で臨みました。  
隊員の支援を受けるとともに、伊勢湾漁業協同組合協力の下、近隣の漁港で万全な対応体制を確保して実施しました。8月は猛暑の中、10月は寒さの中で洋上漂流時における生存要領及び救助要領について確認しました。  
今年度の訓練成果を基に、来年度実施する集合訓練に向け、航空学校は引き続き準備を進めてまいります。



基礎訓練(水上救助法)



座学(救命機器取扱)



浮舟漂流



救命胴衣漂流



304水際障害中隊隊員によるダイバー準備支援



ホイスト救助

# 令和7年度追悼式



令和7年10月11日(土)明野駐屯地明桜館において、令和7年度追悼式が執り行われました。  
本追悼式は、明野忠魂塔顕彰会と合同で行われ、各協会の会長に参列頂いた他、航空学校、明野駐屯地所属隊員及び近隣部隊長等が参列しました。

本追悼式では、航空学校で殉職された隊員及び旧陸軍戦隊等の戦死者の御霊への拝礼・黙禱の後、航空学校長 廣瀬陸将補及び明野忠魂塔顕彰会 榑原久生会長の追悼の辞、献花、中部方面音楽隊による追悼演奏、儀仗隊の弔銃等、厳粛に取り行われ、謹んで哀悼の誠を捧げました。



追悼演奏



追悼の辞



弔銃



献花

# おばた町民体育祭 2025



明野駐屯地は、小俣まちづくり協議会からの協力依頼を受け、令和7年10月19日(日)「おばた町民体育祭」に参加しました。  
駐屯地から約60名の隊員が「本気リレー」及び「綱引き」の2種目に参加しました。  
自衛隊の参加により町民体育祭は大いに盛り上がりを見せ、本気リレーには小俣町全体として18チームが参加し、駐屯地から参加したチーム「匍匐前進」が5位と健闘、綱引きでは小俣町選抜の2チーム及び駐屯地から2チーム「明綱会(めいこうかい)A・B」が参加し、見事明綱会の2チームが圧勝して自衛官の力強さをアピールしました。  
本行事の参加を通じ、地域住民への自衛隊・明野駐屯地の存在感を示し、更なる理解の促進及び信頼感の醸成を図ることができたとともに、地域への貢献及び募集効果の拡充を図ることができました。



綱引き



本気リレー



司令激励

# 秋の交通安全運動

明野駐屯地は令和7年9月24(水)及び25日(木)、秋の防衛省交通安全運動期間において「横断指導」と「あいさつ運動」を実施しました。

隊員が駐屯地周辺の通勤常用経路上の信号機のない横断歩道において、隊員のみならず通学する学生や地域住民の通行者に朝のあいさつを行ったとともに、横断歩道を朝利用する際は運転者に横断意思をしつかり伝えることと停車のお礼の意思表示について声かけを実践しました。これにより地域の安全確保に貢献しました。



地域住民へのあいさつ



横断指導

## 栄光の紹介

第147期陸曹候補生課程  
教育隊長賞  
航空学校整備部 福田士長

納涼祭における太鼓演奏による  
駐屯地司令褒賞  
航空学校整備部 山川1曹



「賞に満足することなく、更なる識能の向上に精進します。」



「次回もより一層盛り上げるよう努めます。」

# 明野イベント情報



## 2025 航空学校創立73周年記念行事

### 明野駐屯地開設7周年

地域と共に

航空機にはそれぞれカラーサインがあるよ！あがいたら手を振りながら大きな声で叫んでみよう！  
白黒のヘリコプター飛行展示チーム「明野レインボー」が飛ぶのは新空祭だけ！お見逃しなく！！

タンコ / アタッカー / ハヤブサ / ヒロコ / ハンター / オメガ / キャリア

観覧ヘリコプター / 訓練ヘリコプター / 警用ヘリコプター / 警用ヘリコプター / 警用ヘリコプター / 警用ヘリコプター / 警用ヘリコプター

2025 11.22.sat 10:00~15:00 (入場無料)

会場 明野駐屯地

観覧飛行 飛行機展示 装備品展示 明野レインボー 音楽隊演奏 パイロットサイン会 フォトラリー フライトシミュレーター体験 etc.

70周年記念限定グッズ 自衛隊カラカデー ヘンパネ、伊勢フリス、連ぎようぎ、二軒茶屋餅 焼きそば、焼餅、たこ焼き フランクフルト、串焼き アイスクリーム、かき氷 カクサンド、お好み焼き

自衛官大募集

# 部隊紹介

## 第10飛行隊



普通科との協同訓練

第10飛行隊は東海・北陸地区を警備担任する第10師団唯一の航空機を保有する部隊であり、災害時等において、もともと迅速かつ広域に対応が求められるいます。飛行隊長萩原2佐を核心として、統率方針「即応必遂」の下、日夜即応性を堅持するとともに他職種との

協同訓練を積極的に実施して各種事態に即応できる部隊として練度向上に努めております。また、無事故飛行を59年間継続中であり、今後も「気づき、口にし、実行する」の安全指針の下、更なる練度向上と信頼の構築に努めて参ります。

これからも飛行隊一丸となり全力で任務達成のため努力していきますので、引き続き応援のほどよろしくお願ひ致します。



夜間係留点操作



ドアガン射撃訓練

〇〇〇 真珠抄 〇〇〇

『さらば久しい』

私の生まれた千葉県佐倉市では、三百年以上前から秋に麻賀多神社の例大祭(佐倉の秋祭り)が行われます。毎年、多数の山車、神輿、屋台が賑わいますが、その中で麻賀多神社の大祭の限られた担ぎ手によって「明神祭り」の息吹を伝えていきます。

掛け声の「さらば久しい」、これは古語的な言い回しで、現代語に訳すと「久しぶりにお会いしました」という意味で「明神さまの祭り、しばらくぶりだなあ」という神様との再会を喜び、感謝を込めたものであり、御霊を迎える喜びや畏怖の念を「明神祭りさらば久しい」という言葉に込めて掛け声として発しています。

人との出会いも一期一会。今日誰かと過ごす日々もいつしか「さらば久しい」と言いたくなる日への伏線なのかもしれません。だからこそ人との出会いに感謝し、どんな出会いも丁寧に、その人がいてくれる時間を心から大切にしたいものです。

(第5対戦車ヘリコプター隊長)

# 定年退官



令和7年9月30日  
航空学校総務部  
防衛技官  
山口 忠生

永年の自衛隊勤務、大変お疲れ様でした。